

審議会会議録

1	会議の名称	平成26年度富津市次世代育成支援行動計画推進会議
2	開催日時	平成26年7月18日 午後2時～午後3時10分
3	開催場所	富津市役所502会議室
4	審議等事項	(1) 委員長の選出について (2) 平成25年度進捗状況報告について (3) 次世代育成支援行動計画の今後について
5	出席者名	委員 小林美奈子、竹内好美、渡辺務、塚田真澄、三谷裕子、渡邊俊昭、山寄豊、中山健二、坂部充洋、白井克典、石渡衛、岡田和夫、鈴木千鶴子、福原恵実、榎本信弘、諏訪智子、廣部志帆、吉原久美 事務局 前沢健康福祉部長、白石子育て支援課長、茂木子ども家庭係長、小野田保育係長、渡邊主任主事
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員5人)
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

平成26年度富津市次世代育成支援行動計画推進会議議録

発言者	発言内容
事務局・茂木	1 開会
前沢健康福祉部長	2 健康福祉部長挨拶
事務局・茂木	<p><会議の成立について></p> <p>本日の出席者は18名で、欠席されている方は委員名簿の9番平井委員と20番諸岡委員でございますので、過半数を超えております。</p> <p>よって、次世代育成支援行動計画推進会議設置要綱第6条第2項の規定により、本日の会議は成立いたします。</p>
事務局・茂木	<p><会議の公開について></p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっておりますが、本日の傍聴人は、おりません。</p> <p>・委員の自己紹介、事務局の紹介</p>
事務局・茂木	<p>3 議題</p> <p><(1) 委員長の選出について></p> <p>議事に入りますが、前委員長の十川敬三様が、委員を辞職され、委員長が不在です。</p> <p>本会議設置要綱第5条第3項の規定に「副委員長は、委員長を補佐し、委員長が、欠けたときは、その職務を代理する」とありますので、鈴木副委員長に議事進</p>

<p>鈴木副委員長</p> <p>事務局・白石</p>	<p>行をお願いします。</p> <p>それでは、委員長が選出されるまでの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議題 1 委員長の選出についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
<p>鈴木副委員長</p>	<p>本会議設置要綱第 5 条第 1 項に「推進会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定されていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>委員長の選出については、「委員の互選によりこれを定める」とありますが、互選の方法としましては、選挙と指名推薦がありますが、いかがいたしますか。</p>
<p>榎本委員</p> <p>鈴木副委員長</p>	<p>指名推薦の方法が、良いと思います。</p> <p>ただいま、指名推薦とのご意見がありました。指名推薦の方法でよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p> <p>鈴木副委員長</p>	<p>異議なし。</p> <p>異議ないものと認め、委員長の選出方法は、指名推薦とします。</p> <p>どなたか委員長の推薦をお願いいたします。</p>
<p>岡田委員</p>	<p>渡辺務委員を推薦します。</p> <p>渡辺務委員は、教育福祉常任委員会の委員長を務められ、識見豊かで適任だと思います。</p>
<p>鈴木副委員長</p>	<p>岡田委員から、委員長には渡辺務委員との推薦がありました。ほかにどなたかいらっしゃいますか。</p> <p>他に推薦される方も、いないようですので渡辺務委員に委員長をお願いすることに、ご異議ございませんか。</p>
<p>各委員</p> <p>鈴木副委員長</p>	<p>異議なし。</p> <p>ご異議ないものと認め、委員長には渡辺務委員をお願いすることといたします。</p> <p>それでは、渡辺務委員、よろしくをお願いします。</p>

事務局・茂木	<p>委員長が、選出されましたので、これで議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>渡辺務委員については、委員長席にご移動お願いします。</p> <p>ご移動後は、就任のご挨拶をいただき、議事進行をお願いいたします。</p>
渡辺委員長	委員長挨拶
渡辺委員長	<p>○会議録署名人</p> <p>本日の会議の会議録署名人は、福原委員を指名いたしますので、よろしく願いいたします。</p>
渡辺委員長	<p>< (2) 富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況報告について ></p> <p>議題 (2) 富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況についてを議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局・渡邊	平成25年度進捗状況報告書について説明
渡辺委員長	<p>○質疑・意見</p> <p>12頁の事業番号57番地域子育て支援センターですが、これは、子育て中のお母さん、お父さんの要望が高いと思いますが、利用者は6,000名とあります。現状とこれからの課題について、お考えがありましたらお答えください。</p>
事務局・白石	地域子育て支援センターは、現在、青堀保育園と和光保育園の2カ所で実施しておりまして、市は、補助

	<p>金を交付して地域子育て支援センターを運営していただいております。主に保育園や幼稚園に行っていないお子さんの保護者とお子さんを対象に育児の相談や情報交換を行っています。昨年度、子ども・子育て支援計画策定業務の中でニーズ調査を実施したところ、子育て支援センターにつきまして、今、保育園でやっておりますので、利用者からは、独立した支援センターの方が行きやすいという意見がありました。市としてもできることは限られておりますが、できるか検討しているところでございます。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>事業番号 58 番のなのはな子育て応援事業の説明の中で中断している保育園とありましたが、単純に利用者が少ないということなのか、その辺の事情なりがわかりでしたらお願いします。</p>
<p>事務局・白石</p>	<p>事業実施の曜日を分けたり、年齢を分けて、利用者の増加を検討したそうですが、利用者が増えず、参加者が少数のため中断しており、今後については検討されているそうです。</p>
<p>鈴木副委員長</p>	<p>私は、地域子育て支援センターを運営しておりますので、状況を付け加えさせていただきます。地域子育て支援センターは、富津市では、和光保育園と青堀保育園が 2 か所やっています。これは国からの助成を受けてやっておりますので、開設日数などに条件がある中で運営しています。なのはな子育て応援事業は、堂本さんが県知事の時代に、子育て家庭を応援する事業として年間 50 万円の助成事業でした。内容としては千葉県内の保育園が子育て応援事業を保育事業のほかに定期的なイベント開催やパートさんを雇うとかいろいろものがありました。その後この事業がなくなり、イベント企画などもできなくなりましたが、それでも保</p>

<p>鈴木副委員長 事務局・白石</p>	<p>育園は、子育てや子ども達、また、親を応援するのが使命と思ってやっています。助成があろうと、なかろうといろいろな形で園庭解放や相談事業とか取り組みをしているけれども、実際は、保育事業が主ですので手が回らないとか、予算がないとかそういう形で規模が縮小されてしまったというのが現実かなと思います。</p> <p>子育て支援センターのこれからの課題ということで、保育園併設でない方が利用しやすいということがありました。保育園併設だと、ゆくゆくは入らなくてはならないとかという責任感も持ってしまうのでしようけれども、君津市の場合は、市が委託して事業者に支援センターを開設してもらっているという形でやっているの、行きやすいということはあると思います。支援センター利用の中での課題は、支援センターに来られる人は良いのですが、家庭にこもっていて、子育てに困っている、子育て中のお母さんが苦しんでいるとか、そういう家庭にもう少し、手を差し伸べることができればということが永遠の課題であると思います。</p> <p>イクトモの利用状況は、ホームページを見たとか、見ないとかは、わかるのですか。</p> <p>イクトモは、富津市のホームページにバナーをつくりまして、そこから市のホームページの子育て情報を見やすく、探しやすいようになっています。昨年の7月に開設しまして、手元に資料がないので、当初のアクセス件数は3,000位ありましたが、最近は1回見ると必要な時しか見ませんので、平均して月500～600程度のアクセス件数となっています。最初は、保育園や幼稚園にパンフレットを配りまして、広報にも載せて</p>
--------------------------	---

<p>小林委員</p>	<p>いますが、もう少しPRが足りないと思いますので、今後もPRをしていきたいと考えています。</p> <p>事業番号 110 番の「まちの先生制度」の活用についてです。毎年、回覧板などでパンフレットをいただいて、見させているのですが、どういうところで、どういう方を活用なさっているのかということが見えてこないのですが、利用件数が 65 件というのは、例えば、いろいろな方が例えば 1 人 1 回 65 人あったのか、また、どういう方のまちの先生の需要が多いのか、そういうものがわかればと思って、質問させていただきます。</p>
<p>事務局・白石</p>	<p>生涯学習課で行っている事業なので詳しいことはわかりませんが、65 件は延べ件数ですので同じ方がダブっている可能性があると思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>事業番号 154 番の不審者対策なのですけれども、車を運転していると木更津第二小学校の前などは、仕事をリタイアした多くの人達がお揃いの帽子をかぶって交差点に立って、子どもたちを見守ってくれています。大きな交差点だと危険があるということかもしれませんが、非常に安心だなと感じます。富津市でも自主的に見守ってくださる人もいらっしゃると思いますが、何か手伝いたい、時間のある方たちもたくさんいると思うので、そういうボランティアを募って、見守り事業みたいなものをしていただけたらありがたいと思いますが、そのような計画はないでしょうか。</p>
<p>事務局・白石</p>	<p>ボランティアは市でやっておりませんが、各小学校区では、自主的にそれぞれやっているところもあります。車に「見守り隊」などのステッカーを貼ったり、飯野小学校では、交差点に何人か黄緑のジャケットを着て、朝、立っていらっしゃる方を見受けますし、独</p>

<p>渡辺委員長 石渡委員</p>	<p>自でやっていると思います。したがって、市で実施する予定は今のところありません。</p> <p>小中学校校長会として石渡先生、何かありますか。</p> <p>今、白石課長からお話があったように、各学校で独自に地域の方々に「見守り隊」というような朝の見守りを、組織を作ってやっているところが多いです。ただ、その内容については、各学校まちまちです。</p> <p>例えば、佐貫小学校の場合でもまちのボランティアに声をかけさせていただき、ご協力いただいております。ただ、過去に大きな事件が起こって、その時、どの学校でも力を入れていたことがありました。ここに来てちょっと下火になっているかなというところはあるとは思いますが。不審者に関するニュース等もありますので、各学校で組織の見直しなどを行っていると思います。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>この問題は、何か問題が起きてからだ、遅いと思います。事前に防がなければならないことだと思うのですが、主体的に地域がやるのか、学校がやるのか、あるいはどんなボランティア団体がやるのか、その辺がなかなか絞れてこない、具体的にこれをやりましようとなかなか具体的な行動にならないと思います。</p>
<p>小林委員</p>	<p>例えば、他の3市見ますと、学校ボランティアというものを各学校単位や市で募集しているポスターなどを見ることがあります。富津市もそういう声が届いているかどうかわかりませんが、私の周りには学校ボランティアみたいなものを有償、無償は別として、募った方が良いという声もちらほら聞かれるのですが、その点について市としてはどのようなお考えでいらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>前沢健康福祉部</p>	<p>学校ボランティアにつきましては、関係部署と今後、</p>

長	<p>どのような内容で行っているか調査をしまして、研究をさせていただいて、富津市に見合った活動であれば、それを積極的に採用していきたいと考えております。</p>
小林委員	<p>ボランティアをやりたいけど、きっかけがほしいという人も大勢いらっしゃると思うので、そういうものを市からアクションがあると良いと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
石渡委員	<p>各学校で交通安全のボランティアとは違いますが、学校で行事などタイムリーにお願いしたいときには、ボランティアをお願いしています。</p>
小林委員	<p>私も学校行事のボランティアに参加していますが、広い意味でいろいろなものに対応できるボランティアとして、少子化ですので、若い子育て世代のお母さん、お父さんは働いている方が多いので、シニアの方の力を活用できるのではないかという可能性でお聞きしました。</p>
石渡委員	<p>市内小中学校が17校ありますけれども、いろいろな状況があると思います。おっしゃるように広域で横断的な組織があれば良いとは思っています。</p>
渡辺委員長	<p>今日は、事務局に教育部が来ていませんので、どちらかというとも教育部の範疇なので、今、前沢部長は概略の回答しかできなかつたと思います。いずれにせよ枠組みを作るにしても、石渡委員からお話があったように学校単位ではある程度限界があるのかなと感じます。広い範囲でつくっていくということに関しては、行政が主導である程度、音頭を取っていかないといけないと思いますので、教育部に連絡を取っていただいて、教育部の方で何らかの方策を進めていただきたいと思います。やはり、目的は、事件・事故を起こしてはいけないということだと思いますので、それを第一</p>

<p>前沢健康福祉部長</p>	<p>に考えて進めていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。</p> <p>委員長さんから提案がありましたとおり、木更津市の活動の内容を聞いて、富津市に合ったものであれば、取り入れていきたいと考えております。</p>
<p>坂部委員</p>	<p>ボランティアは、自分がこうしてやってあげようという気持ちだと思います。そういった人の集まりがどんどん広がって、行政がこういうことをやっていますよと広報をしていく形でやっていった方が良いのではないかなと思います。行政がやってすぐできるか、できないかということは、たぶん時間のかかる問題だと思います。「みんなでこういったボランティアをしようよ」といった中で、例えば吉野地区でやっていけば、「吉野小の人たちはこのようにやっていますよ」ということを行政もどんどん広げていこうという考えも出してくると思います。実際、ボランティアというのは、自分たちが一所懸命、報酬なしのことをやっていくものだと思います。</p>
<p>鈴木副委員長</p>	<p>私は、次世代育成支援行動計画委員を前期計画の策定する最初からいしましたが、計画を作る段階では新しい文言を見つけ出してくる作業がとても楽しかったです。計画の名称にもある「いいじゃないかふつつ」は、「これでいいじゃないかふつつ」ではなくて、「なかなかいいじゃないかふつつ」という、そういう思いで名前を付けていきました。そういう流れの中で、途中段階で「いいじゃないかふつつ」の腕章を作ったのですが、それは、この会議のメンバーが地域に出て次世代行動計画を推進しているということをアピールしながら、買い物に行ったときにちょっと気になる子に腕章があったら声をかけられる、ちょっと危ないなという</p>

	<p>場面に出くわした時には腕章があるから声をかけられる、そういう役にこの委員はなるべきじゃないかということをつくった時代もあったのです。でも、皆さんがどう動くのか、どう動かすのかと検討する時間もなかったので、腕章もお蔵入りしているような状況なのですけれども。これは、行政だけの問題ではなく、会議の委員の皆さんの問題だなと思うのですけれども、先ほど、坂部さんがおっしゃったように、行政からこういうボランティアがあるから、どうぞ来て、やってくださいではなくて、この委員の皆でやろうじゃないかと盛り上がりがあるとか、ほかに子育てやいろいろな会議がある中で、私たちの地域でやろうじゃないかという、地域との連携という中に私たち委員が立ち上がるくらいの活気がないと、こういうものは実現しないのだなあと思っています。本当はそういう活動をしたいたいという思いがあった時代もありました。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>ボランティアの本来の意味、その中でどうやって連携の橋渡しをしていくとか、あるいは人材の背中を押していくとか、そのような事を考えながらやっていかざるを得ないかなと思います。この会議のメンバーの中でというお話が出ましたが、このメンバーの在り方自体も少し変わって来つつあるということもあるので、それを踏まえながら検討していくことになろうかなと思います。皆さんそれぞれの思いがあるので、そのようなものが実現できるように行政に受け止めてもらい、また、行政だけでなく我々一人一人も取り組んでいくということによろしいでしょうか。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>事業番号 15 番の 3 歳児健診ですが、うちの子は 5 歳なので、2 年前ですけれども、視力の検査方法は今でも変わらないのかお聞きしたいです。3 歳児健診のと</p>

事務局・白石	<p>きに発見できなかったのですが、兄弟は、同じことを言われたので不安に思い、その後、自分で検査に行ったら、わかったことがありました。なので、検査会場に眼科にある視力検査の機械を持ち込んで行うのは難しいのでしょうか。初歩的な検査ではなく、3歳児健診で機械による検査してもらえば早く発見できて、安心できると思います。</p> <p>3歳児健診は、健康づくり課で行っておりまして、詳しいことは分かりませんので、後ほど回答させていただきます。</p> <p>< (3) 富津市次世代育成支援行動計画の今後について ></p>
渡辺委員長	<p>議題3 富津市次世代育成支援行動計画の今後について を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局・白石	<p>富津市次世代育成支援行動計画の今後について、ご説明申し上げます。</p> <p>次世代育成支援対策推進法の概要と改正のポイントをご覧ください。</p> <p>次世代育成支援行動計画の根拠法令であります次世代育成支援対策推進法は、平成17年4月から平成27年3月までの10年間の時限立法でしたが、法律が改正され、10年間延長されました。その他の改正点は、行動計画策定指針の内容の充実・強化、企業等の事業主行動計画の認定制度の充実などとなっています。</p> <p>富津市次世代育成支援行動計画（後期）は、平成26年度で終了いたしますが、今後の市町村行動計画の作成については、今回の法律改正に伴い任意とされ、</p>

<p>渡辺委員長</p> <p>事務局・白石 鈴木副委員長</p>	<p>各市町村の判断によることとなりました。</p> <p>一方、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から本格実施される予定です。これは、幼児期の学校教育や保育、地域子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていくもので、市町村は、平成27年度から31年度までを計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられています。計画策定にあたり、昨年、保護者や子育て支援に係る当事者などで構成する「富津市子ども・子育て会議」を設置し、ご意見を伺いながら、作業を進めているところであります。</p> <p>このようなことから、事務局といたしましては、現段階では、二つの計画に重複する部分があることから、次期次世代育成支援行動計画を市町村子ども・子育て支援事業計画と一体のものとして策定したいと考えています。今後、さらに検討してまいります。行動計画策定の有無にかかわらず、各事業は引き続き実施いたします。</p> <p>詳細につきましては、パンフレットを後ほどご覧いただきたいと思っております。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p> <p>○質疑・意見</p> <p>今の話は、この会議でやっている、次世代育成支援行動計画に多く含まれる部分が去年立ち上げた子ども・子育て会議とダブってまいります。それは27年度から始まるということで、それに含めてやっていくという説明でよろしいですか。</p> <p>そうです。</p> <p>事務局の説明に異論はないのですけれども、次世代</p>
---------------------------------------	---

事務局・白石	<p>育成支援のメンバーを見ていただくとわかるように、民政委員とか区長さんとか地域で活躍されている方々や行政のいろいろな分野の方々がおられるのですけれども、子ども・子育て会議のメンバーには地域の方たち、区長会、民生委員、主任児童委員の方々などは、所属されていますか。</p> <p>子ども・子育て会議のメンバーは、公募した保護者の方、幼稚園、保育園の保護者の代表、幼稚園、保育所、認定こども園の事業所の従事している方、学識経験者の方等から構成されていますので、この会議のメンバーとは多少異なっておりますので、民生委員の方などは含まれておりません。</p>
鈴木副委員長	<p>希望として、地域と連携された子育て支援として考えたら、委員のメンバーを拡大して地域の方々が入ったら良いという思いがありますので、一意見と聞いてください。よろしくお願いします。</p>
事務局・白石 渡辺委員長	<p>わかりました。</p> <p>ほかにはないようですので、これですべての議題は終了いたしました。事務局から何かありますか。</p>
前沢健康福祉部長	<p>先程の件は、今、調べております。申し訳ありません。</p>
渡辺委員長	<p>この次世代育成支援行動計画の会議の在りようは、どうなっているのか、事務局で考えがありましたらお願いします。ちなみに私たちの任期、来年の3月ですけども。どのような予定をしているのか、もしあればお答えいただきたいと思います。</p>
事務局・白石	<p>後期計画は本年度で終了しますので、平成26年度事業の評価は、任期中にはお示しできません。例えば2月末とか1月末の時点の見込みで評価を行いまして、それと合わせまして、後期計画5年間を振り返っ</p>

<p>坂部委員 渡辺委員長</p>	<p>て検証することも必要ですので、その段階での判断になりますが、皆さまお集まりいただいて3月に報告する方向で進めてまいりたいと考えてまいります。</p> <p>そうすると今年度の活動は何をやるのですか。</p> <p>この会議は基本的には年1回です。その中で今までの評価を行い、報告がありました。今後にどうすべきだと意見を言うのが、この会議の本来の目的なのです。同時に今、方向性が見えてきたのが、先ほど見守り隊の話が出てきまして、いろいろな提案・提言があるわけですが、それについて私たちも言い放しになってしまうわけです。来年3月までに会議は行われたいということですので、これで終わってしまうわけでは、皆さん、せっかく思いを持って意見を仰っていただいているので、その結果なり、経過なりを皆さんに分かるように、今年度中にもう1回会議を開いていただこうという考えで、その答えが今の白石課長の答えです。</p> <p>この会議の中で、こうしよう、ああしようという話があったら、私はそれをやっていいと思うのです。それについては、私、委員長なので、ぜひ私を信頼していただいて、私が仲立ちになって、事務局と話をしてこういう会議をもう一度開きたいと、こういう行動を起こしたいと、ぜひ要望があれば、事務局でも私でもよいので話をいただければ、できるだけのことしたいと思います。冒頭に申し上げたとおり、忌憚ない意見を言うだけではなくて、行動するというのは、今日の会議でつくづく思います。ぜひ皆さんご協力いただいて、「今日で終わります、さようなら」という会議になってはいけないと思っています。</p> <p>先ほど委員長さんからお話があったとおり、次世代</p>
<p>前沢健康福祉部</p>	<p>先ほど委員長さんからお話があったとおり、次世代</p>

<p>長</p>	<p>の会議でございました意見につきましては、次の子ども・子育て計画の中で皆さんの意見を反映するような形でもっていきたいと考えております。昨年実施したアンケートとか、子ども・子育て会議での要望とか課題がありますので、先ほど子育てについてありましたことも一緒のテーブルの中に入れて検討していきたいと考えております。いただいた意見等は、次の計画の中に活かしてまいります。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>ほかに何か皆さんありますか。なければ、それでは、ここで一度締めさせていただきます、竹内さんには残っていただき、先ほどの説明をしていただくということでもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは以上をもちまして、平成26年度富津市次世代育成支援行動計画推進会議を終了いたします。</p> <p>委員の皆様には長時間にわたり、ご意見をいただきましてありがとうございました。</p>